

令和5年度

「大学生と集落の協働による地域活性化事業」 活動報告会

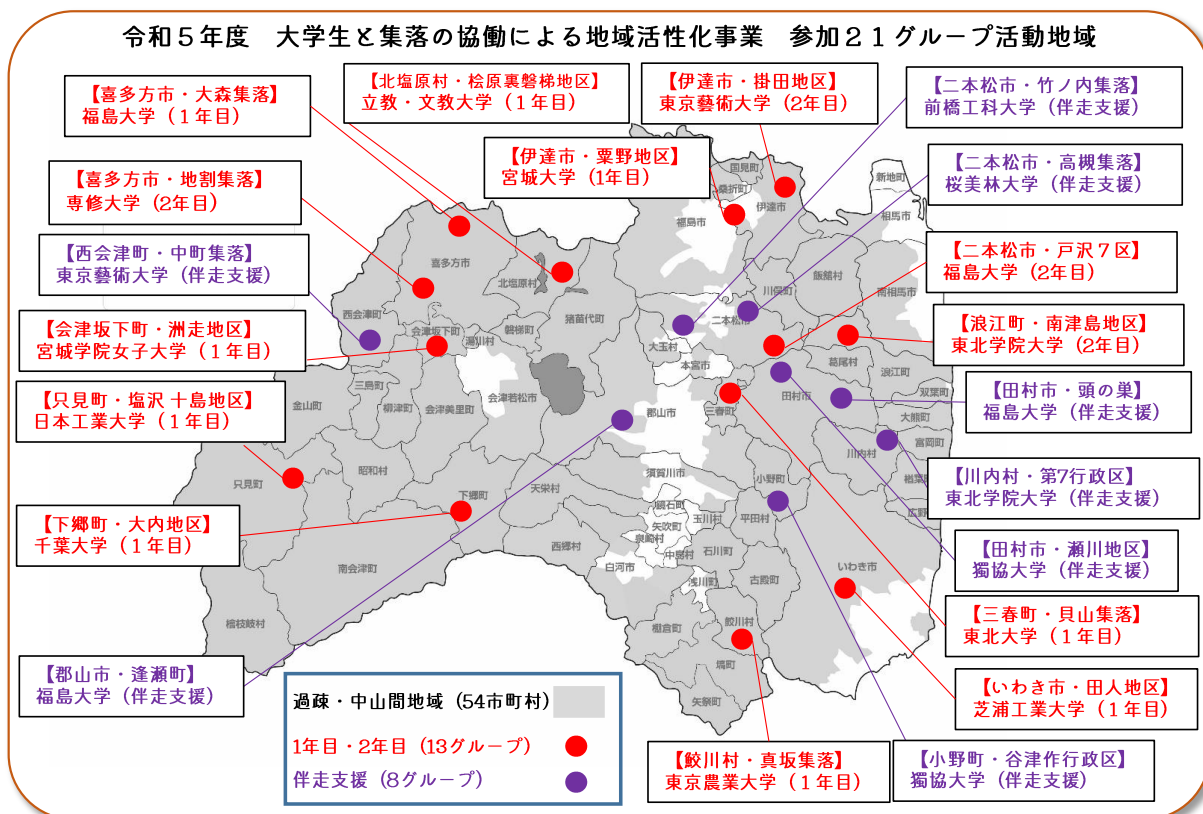
日時：令和6年2月17日(土) 13:00~17:00

場所：ホテル福島グリーンパレス 2階 瑞光の間



令和5年度 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」 活動報告会 プログラム

- 13:00 開会、主催者挨拶
- 13:05 本日のプログラム進行のご説明
- 13:08 **活動報告①** 活動1年目として集落の実態調査に取り組んだ6グループ
- 13:38 休憩
- 13:50 **活動報告②** 活動1年目として集落の実態調査に取り組んだ3グループ
活動2年目として集落活性化策の実証活動に取り組んだ4グループ
- 14:29 休憩
- 14:42 **活動報告③** 集落の主体的な活動の伴走支援に取り組んだ8グループ
- 15:25 **写真撮影**
- 15:40 休憩
- 15:50 福島県事業説明
- 16:00 **交流タイム** (ポスターセッション形式)
- 17:00 **閉会**



令和5年度 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」 各グループの活動概要

	番号	グループ名	活動集落名	活動概要
1 年 目	1-1	東北大学 福興 youth	三春町 貝山集落	農作物（しいたけ）の風評被害払拭にむけた ICT を活用した農業のオープン化・データ化、情報発信
	1-2	福島大学 行政政策学類 廣本ゼミ	喜多方市 大森集落	農作物（きくいも、やまぶどう）収穫や環境保全活動、地域住民とのワークショップ
	1-3	千葉大学 地域計画学齋藤研究室	下郷町 大内地区	耕作放棄地の整備・管理（そば栽培、かや整備）を通じた地域支援及び景観保全活動
	1-4	立教大学・文教大学 磐梯山プロジェクトチーム	北塩原村 桧原・裏磐梯地区	3.11 とコロナの観光への影響、地域振興の課題、地域資源を活かしたお土産について聞き取り調査
	1-5	東京農業大学 SATOYAMA Creators	鮫川村 真坂集落	真坂農村公園の整備（草刈り、ライトアップ）、活用計画の検討
	1-6	宮城学院女子大学 宮原ゼミ COLORS	会津坂下町 洲走地区	農作物（りんご）及び加工品（ジャム、ジュース）等の販売及び祭り等地域行事への参加
	1-7	日本工業大学 学生環境推進委員会	只見町 塩沢・十島地区	空き家活用にむけた現地視察、地域住民とのワークショップを開催
	1-8	宮城大学 伊達ななかまたち	伊達市梁川町 粟野地区	地域行事（地区体育祭、3世代ふれあい事業）への参加、アンケート調査、地域特性を活かした活性化策の検討
	1-9	芝浦工業大学 笑顔のまち なこそプロジェクト	いわき市 田人地区	現地視察、移住・地域振興に関するヒアリング・住民アンケートを実施
2 年 目	2-1	東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト	浪江町 南津島地区	地元保存会との伝統芸能継承活動（田植え踊り、神楽）及び各種イベントで伝統芸能を披露。
	2-2	福島大学 地域交流部	二本松市 戸沢7区	住民への聞き取り調査、屋敷道（フットパスコース）の整備、案内看板の作成
	2-3	専修大学 商学部 渡邊隆彦ゼミナール	喜多方市 地割集落	イベント補助（ニジマス放流）、地元の竹を活かした竹灯籠づくり、集落のロゴマーク作成、収穫祭での交流
	2-4	東京藝術大学 やないけん	伊達市 霊山掛田地区	地域住民に○を書いてもらうイベントを実施、○を使って商店街のシンボルフラッグを制作
伴 走 支 援	3-1	前橋工科大学 都市・地域計画研究室	二本松市 竹ノ内集落	廃校活用に向けた提案検討、空き家活用にむけたワークショップの開催
	3-2	（東京藝術大学） 学生有志団体 やどりぎ案内	西会津町 中町集落	シャッターへの絵画制作、屋台型の移動拠点作成、屋号に関するワークショップを開催
	3-3	東北学院大学 金子研究室川内村プロジェクト	川内村 第7行政区	民俗学調査（石塔調査、聞き取り調査）、史料の整理、地域での報告会を実施
	3-4	桜美林大学 AM 尾川/戸崎ゼミチーム	二本松市 高槻集落	現地視察（炭づくり）、地域の今を伝える情報発信方法の検討
	3-5	獨協大学 こまち「大地の泉」つながるプロジェクト	小野町 谷津作行政区	地域のお祭り（こども神輿）に参加、地域住民との交流活動
	3-6	福島大学 【SEED to Dishes】	郡山市 逢瀬町	新たな特産品として農作物（旨なす）を活用したピザの開発、イベントでの試験販売
	3-7	福島大学 経済経営学類 藤原遥ゼミナール 田村市都路町地域づくり研究会	田村市 頭の巣	景観に関する住民への聞き取り調査、ワークショップ、集落計画案の作成
	3-8	獨協大学 セガワ応援隊	田村市 瀬川地区	小学校（廃校）の現地調査、利活用に関するアンケート調査、利活用方法の検討、農作物（えごま、そば）を活用したスイーツの開発、販売

1-1. 東北大学 福興 youth & 三春町 貝山集落

東北大学 福興 youth：三春町の農家とともに、県産原木使用「福島県産の原木でつくるしいたけ」の復活を目指している。

■集落の抱えている課題

小規模兼業農家が多い貝山集落。高齢化や後継者不足に加え、震災による風評被害による農作物の価格への影響から、離農者が増加している。大学生による ICT を活用した農業の見える化活動には、町も大きな期待を寄せている。



■R5 年度の活動

農作物（しいたけ）の風評被害の現状調査、払拭に向けたしいたけ栽培に関するアプリ開発、ホームページ制作による情報発信。

1-2. 福島大学 行政政策学類 廣本ゼミ & 喜多方市 大森集落

福島大学 行政政策学類 廣本ゼミ：地域づくりに関心を持つ学生が集まった行政政策学類の廣本ゼミによるグループ。

■集落の抱えている課題

過疎化・高齢化が進む中で、かつてのような住民同士のつながりを持った活動の実施が難しくなっている。

■R5 年度の活動

地域の行事（お祭り）への参加、農作物（きくいも、やまぶどう）の収穫、地域住民へのヒアリングとワークショップを開催。



1-3. 千葉大学 地域計画学 齋藤研究室 & 下郷町 大内地区

千葉大学 地域計画学 齋藤研究室：農地保全・まちづくり等を専門とする千葉大生・大学院生によるグループ。大内地区と縁があり、農地再生に向けて議論をしていた。

■集落の抱えている課題

歴史的な街並みと農地が一体化となった美しい景観を有する大内地区では、近年耕作放棄地が増えており、美しい景観の維持・管理が課題となっている。

■R5年度の活動

耕作放棄地の整備・管理（そば栽培、かや整備）を通じた地域支援及び景観保全活動。



1-4. 立教大学・文教大学 磐梯山プロジェクトチーム & 北塩原村 桧原・裏磐梯地区

立教大学・文教大学 磐梯山プロジェクトチーム：立教大学・文教大学の学生による観光を専門としたゼミによるグループ。磐梯山周辺において、現地調査や聞き取り調査をもとに地域の資源発掘調査を行う。

■集落の抱えている課題

大小さまざまな湖沼による自然景観を生かした観光地として発展してきた桧原・裏磐梯地区。東日本大震災、新型コロナウイルス等の影響や、観光のトレンドやスタイルの変化、地域資源を活かしたお土産開発等の課題を抱えている。

■R5年度の活動

東日本大震災、新型コロナウイルスの観光への影響、地域振興の課題、地域資源を活かしたお土産について聞き取り調査。



1-5. 東京農業大学 SATOYAMA Creators & 鮫川村 真坂集落

東京農業大学 SATOYAMA Creators：真坂地区とゆかりがある東京農業大学生・大学院生からなるグループ。

■集落の抱えている課題

真坂集落は真坂農村公園を中心とした集落で、かつては水稲や養蚕がさかんだった地域。景観の維持管理について、高齢化等による深刻な担い手不足が課題。



■R5年度の活動

真坂農村公園の整備（草刈り、ライトアップ）、住民が整備・管理しやすい公園にするための計画の検討。



1-6. 宮城学院女子大学 宮原ゼミ COLORS & 会津坂下町 洲走地区

宮城学院女子大学 宮原ゼミ COLORS：観光振興を専門とする宮城学院女子大学のゼミのグループ。これまでは、宮城県内での観光資源発掘・振興のプロジェクトを行ってきた。

■集落の抱えている課題

地形や気候を生かしたりんご・桃などの果樹、そばといった農作物栽培が盛んな洲走地区。高齢化にともなう耕作放棄地増加が与える集落への影響が懸念されている。



■R5年度の活動

農作物（りんご）及び加工品（ジャム、ジュース）等の販売及び祭り等地域行事への参加。



1-7. 日本工業大学 学生環境推進委員会 & 只見町 塩沢・十島地区

日本工業大学 学生環境推進委員会：建築・情報・機械等を専攻する日本工業大学の学生で構成されるグループ。

■集落の抱えている課題

只見川の両岸に集落を構えている塩沢・十島地区。人口減少・高齢化が進み、集落の生活機能維持が困難になっている。



■R5年度の活動

空き家活用にむけた現地視察、課題の解決・資源の活用に向けた地域住民とのワークショップを開催。



1-8. 宮城大学 伊達ななかまたち & 伊達市梁川町 栗野地区

宮城大学 伊達ななかまたち：地域創成について学ぶ宮城大学学生からなるグループ。地域への社会貢献を通じて、地域づくりに必要なものはなにか、実践から学びたいと事業に参加した。

■集落の抱えている課題

地域の自治組織独自で婚活事業を行うなど地域の繋がりが強い栗野地区。人口減少や高齢者不足等から、小学校の存続も危ぶまれている。



■R5年度の活動

地域行事（地区体育祭、3世代ふれあい事業）への参加、アンケート、地域特性を活かした活性化策の検討。



1-9. 芝浦工業大学 笑顔のまち なこそプロジェクト& いわき市 田人地区

芝浦工業大学 笑顔のまち なこそプロジェクト：東日本大震災からの復興を目指し、地域活性化に取り組んでいる芝浦工業大学学生によるグループ。集落復興に向けた活動のため、本事業に取り組んでいる。

■集落の抱えている課題

かつては炭鉱や林業などでにぎわっていた田人地区。震災前はIターンの移住者いたが、震災後の風評被害等による人口減少及び人口流出が課題となっている。



■R5年度の活動

現地視察、移住・地域振興に関するヒアリング・住民アンケートを実施。



MEMO

2-1. 東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト & 浪江町 南津島地区

東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト：一部避難指示解除された地域の伝統芸能継承にむけて取り組む、南津島地区出身学生を中心にした東北学院大学生のグループ。

■集落の抱えている課題

東日本大震災による原発事故により全ての住民が避難し、コミュニティは危機的な状態にある。郷土芸術保存会員の高齢化、活動の継続、担い手の確保、継承が課題となっている。



■R5年度の活動

地元保存会との伝統芸能継承活動（田植え踊り、神楽）及び各種イベントで伝統芸能を披露。



2-2. 福島大学 地域交流部 & 二本松市 戸沢7区

福島大学 地域交流部：昨年度戸沢7区で活動したグループから有志が集まって結成された、福島大学生のグループ。

■集落の抱えている課題

農業の担い手不足、住民の高齢化などから地域力が低下している。農業中心の地域であり、農業支援となるような活動を望んでいる。



■R5年度の活動

住民への聞き取り調査、屋敷道（フットパスコース）の整備、案内看板の作成。



2-3. 専修大学 商学部 渡邊隆彦ゼミ & 喜多方市 地割集落

専修大学 商学部 渡邊隆彦ゼミ：専修大学でマーケティングを専攻する学生グループ。

■集落の抱えている課題

ニジマス養殖の実証実験、特産品販売のための加工場設置など集落の活性化に向けて積極的な活動を実施している地区。人口減少や高齢化による地域力の低下が課題となっている。

■R5年度の活動

イベント補助（ニジマス放流）、地元の竹を活かした竹灯籠づくり、集落のロゴマーク作成、収穫祭での交流。



2-4. 東京藝術大学 やないけん & 伊達市 霊山掛田地区

東京藝術大学 やないけん：東京藝術大学生のグループ。藝大生の強みを活かした地域活性化に取り組む。

■集落の抱えている課題

旧霊山町の中心地として商店街が形成されていたが、人口減少及び高齢化により、商店街の活気が失われつつあり、周辺の農地においても耕作放棄地が増加している。

■R5年度の活動

地域住民に○（丸）を書いてもらうイベントを実施、○（丸）を使って商店街のシンボルフラッグを制作。



3-1. 前橋工科大学 都市・地域計画研究室 & 二本松市 竹ノ内集落

前橋工科大学 都市・地域計画研究室：建築を専門とする前橋工科大学生のグループ。昨年度までは、空き家の活用案検討、竹を活用した休憩スペースの作成に取り組んだ。

■集落の抱えている課題

少子高齢化が進み、空き家、耕作放棄地が増え、集落内の竹林も荒れるなど、里山の風景が失われつつあり、維持管理が課題となっている。

■R5年度の活動

廃校活用に向けた提案検討、空き家活用に向けたワークショップの開催。



3-2. (東京藝術大学) 学生有志団体 やどりぎ案内 & 西会津町 中町集落

(東京藝術大学) 学生有志団体 やどりぎ案内：東京藝術大学・武蔵野美術大学院の学生・大学院生を中心とした学生有志団体。

■集落の抱えている課題

西会津国際芸術村に国内外のアーティストが集まっているものの、地域との関わりが希薄であることから、アートを通じた賑わいの創出や活性化が課題となっている。また、高齢化が進む集落の維持が喫緊の課題となっている。

■R5年度の活動

シャッターへの絵画制作、屋台型の移動拠点作成、屋号に関するワークショップの開催。



3-3. 東北学院大学 金子研究室 川内村プロジェクト & 川内村 第7行政区

東北学院大学 金子研究室 川内村プロジェクト：民俗学を学ぶ東北学院大学生のグループ。昨年度までは、資料・石塔の調査及び地域住民への聞き取り調査を行った

■集落の抱えている課題

東日本大震災による影響から、住民の帰還は進まず、集落の伝統文化や行事も失われつつあることから、地域の伝統文化、行事の継承・記録が課題となっている。

■R5年度の活動

民俗学調査（石塔調査、聞き取り調査）、史料の整理、地域での報告会を実施。



3-4. 桜美林大学 AM 尾川/戸崎ゼミチーム & 二本松市 高槻集落

桜美林大学 AM 尾川/戸崎ゼミチーム：ビジネスマネジメントを学ぶ桜美林大学生のグループ。コロナ後の地域の現状について、再調査を行った。

■集落の抱えている課題

かつては養蚕が盛んであった高槻集落。近年では、ワイン用ブドウの栽培に取り組んだり、農家民泊を立ち上げ里山の恵みを提供するなど地域の特色を活かした取組みを行っているが、依然として少子高齢化による耕作放棄地や空き家の増加が課題である。

■R5年度の活動

現地視察（炭づくり）、地域の今を伝える情報発信方法の検討。



3-5. 獨協大学 こまち「大地の泉」つながるプロジェクト& 小野町 谷津作行政区

獨協大学 こまち「大地の泉」つながるプロジェクト：昨年度まで、「地域活性化プロジェクト」として取り組んできた獨協大学のグループ。これまでコロナ等で現地活動が制限されていたが、今年は新たなこまち「大地の泉」つながるプロジェクトとして継続して活動している。

■集落の抱えている課題

谷津作行政区は、自然噴出する温泉を所持しており、その源泉を「地域のシンボル」として活用できないか模索している。

また、少子高齢化の影響により、地域住民が交流する場が減少し、地域の活力も失われつつある。

■R5 年度の活動

地域のお祭り（こども神輿）に参加、地域住民との交流活動。



3-6. 福島大学【SEED to Dishes】& 郡山市 逢瀬町

福島大学【SEED to Dishes】：福島大学食農学類のグループで、団体名の意味は、「種から皿まで」。農産物の生産者から消費者までを学びたいと活動している。

■集落の抱えている課題

逢瀬地区は、農産物の6次産業化など、地域の農作物を活かした地域活性化に取り組んでいるが、農産物等のブランド化、高齢化及び担い手不足による地域の活力低下が課題となっている。

■R5 年度の活動

新たな特産品として農作物（旨なす）を活用したピザの開発、イベントでの試験販売。



3-7. 福島大学 経済経営学類 藤原遥ゼミナール 田村市都路町地域づくり研究会 & 田村市 ^{つぶり}頭の巢

福島大学 経済経営学類 藤原遥ゼミナール 田村市都路町地域づくり研究会：地域づくりについて学ぶ福島大学藤原ゼミのグループ。昨年度は、地域の現状調査を行ってきた。

■集落の抱えている課題

住民間の結びつきは強いものの、高齢化や人口減少の影響から耕作放棄地の面積が拡大し、地域の景観も損なわれつつあり、維持管理が課題となっている。

地域ではこれまで移住者の受入なども行ってきた経験から、学生のアイデアをもとに、固定化された概念を取っ払った自由な発想による地域活性化案を期待している。

■R5年度の活動

景観に関する住民への聞き取り調査、ワークショップ、集落計画案の作成。



3-8. 獨協大学 セガワ応援隊 & 田村市 瀬川地区

獨協大学 セガワ応援隊：2017年から継続して活動している獨協大学のグループ。新型コロナウイルスの影響により、現地活動が実施できない時期があったが、一歩ずつ地域の皆さんとの絆を深めてきた。

■集落の抱えている課題

農業中心の地域であるが、遊休農地が増加しており、地域の活力も低下しつつある。農作物を活かした6次化、ブランド化等が課題となっている。

■R5年度の活動

小学校（廃校）の現地調査、利活用に関するアンケート調査、利活用方法の検討、農作物（えごま、そば）を活用したスイーツの開発、販売。



MEMO

令和5年度
「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

福島県 企画調整部 地域振興課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

